

第16回 北条教育全国公開研究会

令和6・7年度 安房地区教育委員会連絡協議会研究指定

社会に生きる 個性の創造

マスコットキャラクター
にれのつきー



1

自己表現による
多様な価値観の交流

2

自己選択・自己決定による
個別最適な学びの実現

3

共同思考による
協働的な学びの充実

4

リアルな学習問題と
単元構成による課題解決

5

個人追究と集団追究の
融合による追究の深まり

令和7年11月14日(金)



館山市立北条小学校

後援：千葉県教育研究会 北条小学校同窓会

参加費

無料

交通案内

【高速バスでお越しの場合】

東京駅・新宿駅からは高速バス〈なのはな号〉で約1時間50分館山駅にて下車
千葉駅からは高速バス〈南総里見号〉で約1時間40分館山駅にて下車

【電車でお越しの場合】

東京方面からJR京葉線→蘇我駅乗り換え→JR内房線をご利用下さい。

千葉方面からJR内房線をご利用下さい

※公共交通機関をご利用の方は、徒歩にて北条小までお越し下さい。所要時間は約15分。

【お車でお越しの場合】

館山道～富津館山自動車道経由～富浦IC～北条小

駐車場は本校校庭をご利用下さい。

会場周辺地図



詳細地図



【駐車場への入り方】

- ① 保健所脇の細道に入ってください。
- ② 文化ホール方面から、なかばんの交差点を過ぎたら、左に坂を下りてください。

申し込み方法

下記、二次元コードから、参加申し込みをお願いいたします。

参加申し込み時に、参加希望分科会の登録をお願いします。

なお、弁当は申し込みフォームから予約注文可能です。

参加申し込みフォーム

<https://forms.office.com/r/sfBDFri81n>

申し込み〆切

令和7年10月31日(金)

お問い合わせ

館山市立北条小学校

〒294-0045 千葉県館山市北条456

TEL 0470-22-2141 Fax 0470-22-2142

HP <http://www.city.tateyama.chiba.jp/school/houjyo/>

E-mail houjyote@city.tateyama.chiba.jp

参加申し込みはこちら!



授業展開一覧

第16回 北条教育全国公開研究会 研究テーマ「社会に生きる個性の創造」

14:55～16:10

研究テーマにアプローチするための5つの柱

**柱① 自己表現による
多様な価値観の交流**

集団内での自己表現を通して、多様な価値観に触れ、相互理解を深めていきます。自分の個性を相対化して自己理解を進め、多様性を尊重し合える集団の形成を目指します。

**柱② 自己選択・自己決定による
個別最適な学びの実現**

課題設定から振り返りまでを子どもが主体的に行う自由度の高い授業を行います。自分の興味・関心や課題意識に応じて、個々のペースや方法で学習を進めます。「自由進度学習」と共通点の多い学習の展開もあります。

**柱③ 共同思考による
協働的な学びの充実**

共通の目標に向けて、仲間と考えを共有しながら協働的に問題を解決していく過程（共同思考）を充実させます。多様な思考をつなぎ合わせ、個性を磨いていく子どもを目指します。

**柱④ リアルな学習問題と
単元構成による課題解決**

当事者意識、切実感、必要感をもてる課題を子どもと共に設定し、社会とのつながりが生まれる単元を構成します。課題を解決していく中で、社会（集団）に働きかけようとする子どもを目指します。

**柱⑤ 個人追究と集団追究の
融合による追究の深まり**

個人の課題追究を集団での課題追究へと統合・発展させることで、追究を深めていきます。一人一人の個性を、社会（集団）の中で発揮することで、さらに伸ばしていける子どもを目指します。

研究テーマについて、詳しくはこちら！



北条小公式キャラクターの「にれのっきー」です。皆さんのご参観お待ちしております！



10:30		第1展開(11:00～11:45)			第2展開(13:00～13:45)			第3展開(13:55～14:40)			分科会	
受付	柱①	体育	2の2(小山 裕) 分科会A 「マットを使った運動遊び～スーパーにれのっきーになろう～」	屋 の フ リ ー タ イ ム へ セ ン タ ー 活 動 の 参 観 が で き ま す	国語	1の3(武田薫子) 分科会B 「きこえてきたよ、こんなことば」	移 動	国語	5の2(堀端真紀) 分科会B 「しょうかいしよう！おすすめの本」	柱① 第1分科会A 5の1教室		
		自立	なの花1(石井麻子) 分科会A 「どんな顔？どんな気持ち？」		算数	2の3(鈴木里奈) 分科会A 「かけ算(2) 図やしきをつかって」		書写	5の1(奥村麻美) 分科会B 「目指せ、筆記具マスター！」		柱① 第1分科会B 5の2教室	
					音楽	1の2(鈴木綾乃) 分科会A 「がっきと なかよくなるう」		道徳	4の2(中川大珠) 分科会B 「人によって態度を変えるのはだめ？」			柱② 第2分科会A 5の3教室
			10:45～11:45 60分展開		自立	なの花4(大金美穂) 分科会A 「スリーヒントクイズをつくろう」			13:40～14:40 60分展開			
	柱②	統合	1年(徳永武史・鈴木綾乃・武田薫子) 「なかよし 大きーせん！(幼小交流)」 分科会A		外国語	6の3(坂井啓佑) 分科会A 「My Best Memory」		算数	5の3(北原萌未) 分科会A 「面積の旅～オープン学習を通して～」	柱③ 第3分科会 6の2教室		
		理科	3の2(和田拓海) 分科会A 「電気で明かりをつけよう～ピカピカランドに行こう！～」		ことば	ペンギン(鈴木智子) 分科会B 「よく聞こう 気をつけて話そう(2)」		LA	ステップ(山田 淳) 分科会B 「文字をたのしく書けるようになろう」		柱④ 第4分科会A 4の3教室	
		音楽	6の1(坂口由紀子) 分科会A 「It's my tune! ジングルをつくる」									柱④ 第4分科会B 4の2教室
		ことば	ウサギ(網代明子) 分科会B 「子音をいつでも正しく発音しよう」									
	柱③	算数	3の3(渡かなえ) 「間の数～池の周りは何m？～」		算数	6の2(佐粧啓子) 「遊園地の過ごし方は何通り？」			13:55～14:55 60分展開			
	柱④	社会	4の2(田中圭祐) 分科会A 「自然災害からくらしを守る」		統合	4の3(山口彩乃) 分科会A 「つながる心 まもる命～探せ！命を守る術、未来への鍵～」		統合	6年(島田理央・佐粧啓子・坂井啓佑) 「未来は僕らの手の中」 分科会A	柱⑤ 第5分科会 4の1教室		
		自立	にれの木2(秋山雅彦) 分科会B 「よくきいてゲームをたのしもう」		生単	にれの木1(宇山一代里) 分科会B 「リアルショッピングにチャレンジ」		自立	なの花3(鈴木友和) 分科会B 「ご注文は〇〇ですか？」			
		自立	にれの木5(大山一郎) 分科会B 「友だちスイッチ オン」			12:40～13:40 60分展開		自立	にれの木4(佐久間博紀) 分科会B 「元気100倍！カレンダーをつくろう」			
	柱⑤	統合	2の1(郡司翔梧) 「地域のきらり たんけんたい」		統合	3年(高木 恵・和田拓海・渡かなえ) 「めざせ！『たてやまキッズ大使』」		統合	4の1(江澤真里) 「海まちストーリー～探せ！海の魅力、未来への鍵～」			

北条教育は、戦後の「生活教育」の時代から一貫して「子どもの生活」を軸に据えてきました。以来、社会が急激に変化し、学校を取り巻く環境が多様化・複雑化する中、本校ではそれぞれの時代に応じた教育理念を掲げてきました。本校の教育目標は「たくましく現代に生きる子どもの育成」で半世紀以上も不変ですが、「たくましさ」をその時代の子どもたちに必要な資質・能力として描き、具現化を目指す取組を続けてきたのです。

この「たくましさ」を、今回は「社会に生きる個性の創造」と捉えました。「個性」は、教育界においても、本校の研究においても、長く取り上げられてきた概念です。しかし、社会は変遷しています。〇〇ファーストなど、特定の対象を最優先しようとする潮流が激しさを増してきている時代だからこそ、改めて「個性」という視点から、北条教育の根幹である子どもを中心とした教育を捉え直す必要があると考えました。

個の尊重と社会や集団との調和、一見すると相反する価値観のように思われるこの両極のバランスをとること、つまり個人性と社会性の統合を目指すことが、これからの社会を生きる子どもたちには必要だと考えます。

研究はスタートしたばかりで、理論・実践ともに熟成が必要な状況です。ご多用とは存じますが、ご来校頂き、ご意見を頂けましたら幸甚です。

校長 石川 康浩

学校教育目標「たくましく現代に生きる子どもの育成」の具現化のためには、自律的・協調的な社会参画が必要となります。人との関わりの中で、自分の個性を発揮しながら、他者と協働的に新たな価値を創造していくこと。つまり、「社会に生きる個性」を身に付けていくことこそ、子どもたちに必要なたくましさであると考えました。

「社会に生きる個性」は、個々に備わっている自分らしさ（個性）と、集団の中で育まれる社会性の双方を包含する理念です。個性が生きる社会の実現を願い、授業を通して、以下3点の「めざす子ども像」にアプローチします。

① 自分の個性を自覚し、それを活かそうとする子ども
② 学び合いを通して、他者の個性を尊重したり、自分の個性を磨こうとしたりする子ども
③ 課題を見つけ、解決の方法を考え、社会（集団）に働きかけようとする子ども

当日は、各授業実践ごとに重点とする「アプローチの柱」を設定し、子どもの実態や教科の特性に応じた手立てを講じます。また、分科会はこの柱ごとの開催とし、教科等を越えたさまざまな実践から研究テーマに対する討議を深めていきたいと考えております。未だ道半ばではありますが、北条教育の現在地をご覧いただき、研究理念やそれに基づく授業の在り方について、ご意見を頂戴したく存じます。皆様のご参加をお待ちしております。

研究主任 徳永 武史